

平成29年8月31日  
午後1時発表



## 広報資料

問い合わせ先

第一管区海上保安本部

海洋情報部 監理課長 永田 剛

TEL 0134-27-0118 (内線 2510)

### 宇宙（そら）から海底を眺めてみませんか

#### （3D海底地形図フロアーマット展示）

～9月12日は何の日？～

第一管区海上保安本部では、「水路記念日<sup>\*1</sup>」にあわせ、9月10日（日）、余市宇宙記念館で開催される「毛利記念日<sup>\*2</sup>」のイベントに3D海底地形図フロアーマットを展示します。普段見ることのできない日本周辺の海底地形を3Dメガネを通して立体的に見ることができ、フロアーマット上を歩いて宇宙から海底を眺めるような体感をする事が出来ます。

あわせて、航海に使用する海図の展示や海洋調査の紹介なども行います。また、国土地理院とも協賛し、陸・海・宇宙（そら）それぞれの展示を楽しめます。

第一管区海上保安本部では、9月12日の「水路記念日」にあわせた企画展示を例年行っています。今年は、毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで初めて宇宙へ飛び立った日9月12日の「宇宙の日<sup>\*3</sup>」にあわせた「毛利記念日」のイベントを企画している余市宇宙記念館と協賛して展示を行います。

#### 1. 展示期間

9月10日（日）午前9時から午後5時（最終入館午後4時、当日のみ無料）

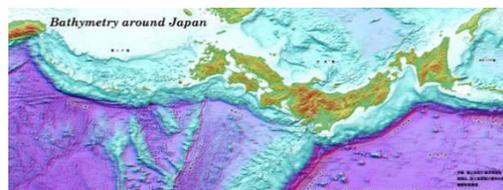
（9月7日（木）～13日（水）（11日（月）は休館日）は業務紹介パネル等のみ展示（有料））

#### 2. 展示場所

余市宇宙記念館（余市郡余市町黒川町6丁目4）

#### 3. 展示内容

（1）3D海底地形図フロアーマット  
（縦3m×横7m、右図イメージ）



（2）主な展示パネル

- ・後志周辺の明治期及び現在の海図展示
- ・伊能図模写図（複写図）
- ・各種業務紹介等

\* 9月10日は職員による解説を行います。

#### 4. 取材対応

9月6日の17時30分から18時の間、宇宙記念館にて取材対応を行います。

また、9月10日は終日取材可能です。希望の社は上記問い合わせ先まで連絡願います。

#### ※1：水路記念日

明治初期、次々に日本に来航した諸外国が、日本沿岸の測量を行い、海図を作るなどして、日本周辺の地を明らかにしていく事態に、明治政府は国防のみならず海運のために自ら測量して海図を作製することの重要性を認識し、1871年（明治4年）9月12日（旧暦7月28日）に兵部省海軍部に水路局（国の海洋調査機関）を設立し、組織的に我が国独自の海図の作製に取りかかりました。現在では、海上保安庁がその業務を引き継ぎ、航海安全・海洋権益保全等のための海洋調査のほか、近年では海に関する多様なニーズに応え、海を利用するために必要な情報を提供しています。海上保安庁ではこの146年前に水路局の誕生した9月12日を水路記念日としています。

#### ※2、3：宇宙の日、毛利記念日

1992年は、世界中が協力して宇宙や地球環境について考えようという国際宇宙年（ISY）でした。日本においても、この国際宇宙年をきっかけに未永く宇宙の普及活動を行おうと考え、一般の方々から「宇宙の日」にふさわしい日を公募しました。その結果、1992年、毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで初めて宇宙へ飛び立った日、「9月12日」が選ばれました。以後、毎年9月12日を「宇宙の日」として、様々な関連行事を行っています。（「宇宙の日ホームページ」より引用）

宇宙記念館では宇宙の日近辺の日曜日を「毛利記念日」として、毛利さんの業績と功績を広く紹介するために特別開館日としています。